

スレート屋根のリフォームは施工時期と工法選びが重要です。

スレート屋根のリフォームで重要なのは施工時期の見極めです。
タイミングを逃してしまうと、のちに多額に費用が必要になったり、
雨漏りの原因になったりと、更に費用がかさむことがあります。



塗装工事

スレート屋根は10年を過ぎる頃から、表面の劣化が始まります。
汚れや色あせ、割れや反りなどが起きることがあります。
内部の腐食の有無、ズレや割れを修理し塗装リフォームをしましょう。

スレート屋根の寿命は30年程度が目安です。25年を超えると割れや反りなど材料の劣化が進みます。
この時期になったら塗装は避け、**カバー工法**か**葺き替え**でのリフォームを検討しましょう。

カバー工法

- 既存の屋根の上に新たな屋根材を乗せて2重にする工事です。
- 古い屋根材の解体や処分が不要なところ。
- 工期が短く、廃材が少ない分エコなリフォームと言えます。
- × かぶせた分、屋根が重くなります。耐震性能に不安がある場合は、事前に確認をしておきましょう。

葺き替え工事

- 表面の瓦だけでなく、下に敷いた防水シートも交換しますので安心です。
- 今より軽い屋根材を選ぶことで、耐震性能を向上させることができます。
- × 解体工事と廃材の処分に手間と費用がかかります。
- × 解体時の騒音やホコリの問題が生じることがありますので細心の注意が必要です。

屋根カバー工法 施行例

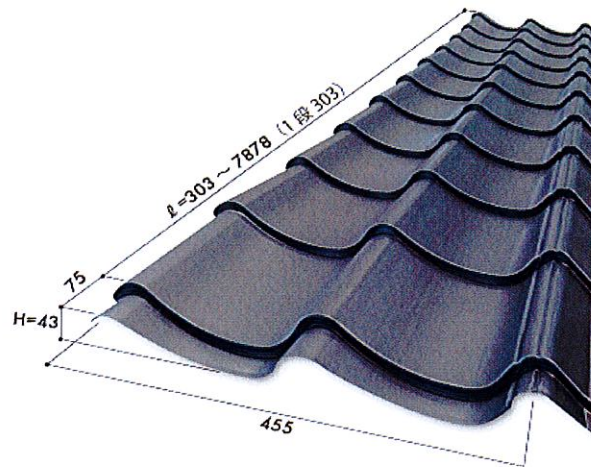
洋風金属瓦



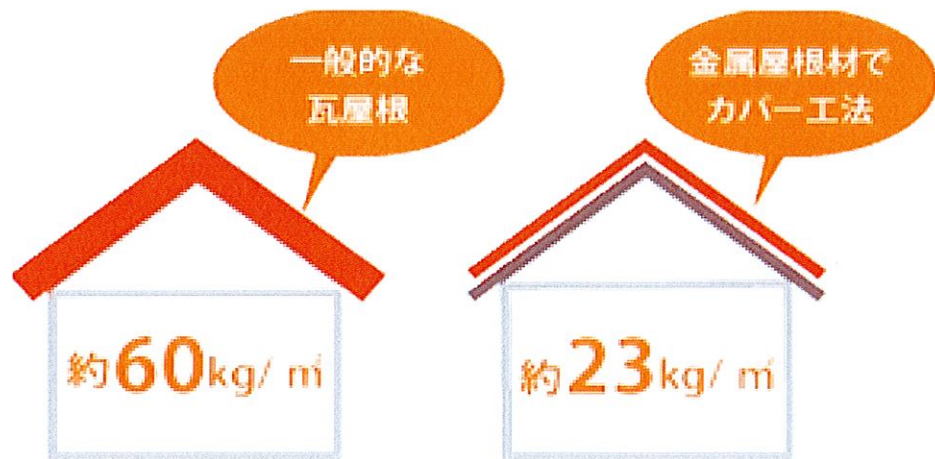
和風金属瓦

● 本体形状 (単位: mm)

※ オーダーは必要段数 (1 段 = ピッチ 303 mm × 幅 455 mm) に対応致します。但し 8m (30 段) 以上はご相談ください。

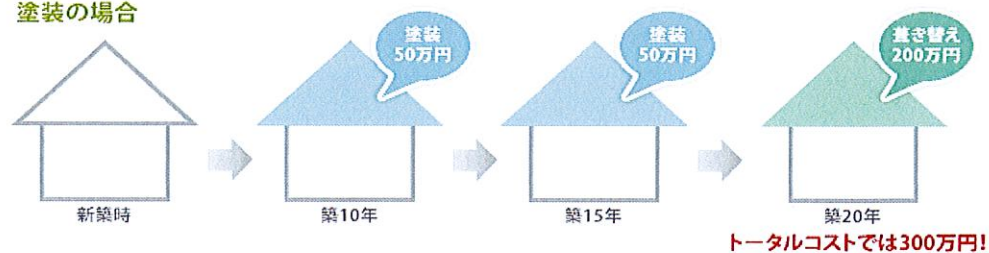


重さの比較



コストの比較

塗装の場合



カバー工法の場合

